

# ICT を活用した高齢者のトイレ排泄の自立支援の研究

看護学科 (老後看護学) 成瀬 早苗  
看護学研究科 (老後看護学)

●連絡先 TEL : 054-202-2948  
E-Mail : s-naruse@u-shizuoka-ken.ac.jp

## キーワード

高齢者, トイレ排泄, 自立支援, ICT



高齢者は、尿失禁や便失禁、便秘、排尿困難などの排泄障害の発症頻度はきわめて高いといわれており、その原因として、排泄機能の障害だけでなく、脳血管疾患による後遺症や筋力の低下、認知症などによって日常生活動作が十分に行えなくなることがリスクファクターとしてあげられている。排泄は、人間にとって欠かせない生理的活動であり、健康のバロメーターともなる。トイレ空間は、気温差や怒責などで脳疾患や心疾患を誘発する場所でもあり、閉じられた空間で生じた問題を早くに把握することが肝要である。しかし、トイレ排泄ケアは、プライバシーの問題を含むこと、介護者の時間を有することの負担などがあり、つきっきりで情報を得ることが困難な現状がある。そこで、トイレの排泄の情報を把握し、自立に向けた支援を検討するため、ICT を活用した研究に取り組んでいる。

タイプ1		コロコロ便	木の葉のようなコロコロしたかたいかたまりの便。ワサギの糞のような便	便秘傾向
タイプ2		かたい便	短くかたまったかたい便	
タイプ3		ややかたい便	水分が少なく表面にひび割れのある便	普通便
タイプ4		普通便	表面がなめらかでやわらかい。あるいはヘビのようなとぐろを巻く便	
タイプ5		やややわらかい便	水分が多く非常にやわらかい便。はっきりとした境界のあるやわらかい半固形の便	
タイプ6		泥状便	形のない泥のような便。境界がぼけてふわふわとやわらかい泥状の便	下痢傾向
タイプ7		水様便	かたまりのない水のような便	

▶ 図 5-19 プリストル便性状スケール



出典 北川公子他、老年看護学第9版、医学書院、2020、p.169

## アピールポイント

ICT を活用したトイレ排泄ケアの実証検証に参加する施設等を募集します。一緒に高齢者のトイレ排泄ケアの自立に向けて考えてみませんか。